

信用する

あなたはどんな人なら信用できますか。信用できる人はどんな人か考えて、思いついたことを、つぎの空白に書いてください。

最近(さいきん)は自分(じぶん)の利益(りえき)のことばかり考(かん)えて、人(ひと)のこと

などどうでもいいという人(ひと)が多いようですね。国(くに)を守(まも)り、国民(こくみん)のために働(はたら)かなければいけないはずの指(し)導(どう)者(しゃ)が、国民(こくみん)から信用(しんよう)されないことばかりしていると、それがあたりまえのようになって、お互(たが)いが信用(しんよう)できないような状(じょう)態(たい)がどん(ひろ)どん(ひろ)広が(ひろ)っていきま(い)す。

日本(にほん)人(じん)が、アジ(ア)アの人(ひと)々(びと)から信用(しんよう)されてい(い)ないのは、過(か)去(こ)の戦(せん)争(そう)のこ(こ)とだけ(だけ)でなく、現(げん)在(ざい)も自(じ)分(ぶん)た(た)ちの利(り)益(えき)だけ(だけ)を求(もと)めて行(こう)動(どう)して(して)いる(い)るから(か)らです。

イエス(イエス)さま(さま)を信用(しんよう)した百(ひゃく)人(にん)隊(たい)長(ちやう)

百(ひゃく)人(にん)隊(たい)長(ちやう)はど(ど)うして(して)イエス(イエス)さま(さま)を信用(しんよう)する(する)こと(こと)

ができたのでしようか。それは彼の今までの生活の
経験からの判断でした。彼がいつも部下を信用する人
だったから、部下の人たちも彼のことを信用して命令
に従っていました。百人隊長も、日頃から部下を
信用していかないと、自分の務めをはたすことができ
ないと知っていたから、イエスさまに対しても心か
ら信用することができました。

私たちは自分の行動について判断する場合、つい
自分の利益になるかどうか考えて、利益になら
ないことはやりません。でも、たとえ利益にならなく

ても、自分が信用できる人の言うことなら聞くことが
できます。

神を心から信用していれば、聖書に示されている
道をおもいきって進むことができます。さらに、お互
いどうしが信用して生きていける社会を作ることができます。

